



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月15日

上場会社名 株式会社ガーデン 上場取引所 東
 コード番号 274A URL <https://gardengroup.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）川島 賢
 問合せ先責任者 （役職名）専務取締役コーポレート本部長 （氏名）小澤 修三 TEL 03 (5361) 8003
 半期報告書提出予定日 2026年10月15日 配当支払開始予定日 2026年11月11日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	9,518	7.9	217	△72.9	138	△81.7	101	△79.6
2026年2月期中間期	8,823	3.5	804	△22.8	754	△23.7	496	△21.2

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	14.19	13.16
2026年2月期中間期	72.16	64.23

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	19,886	7,428	37.4
2026年2月期	17,291	7,695	44.5

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 7,428百万円 2026年2月期 7,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2027年2月期	—	45.00			
2027年2月期（予想）			—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,450	8.7	430	△67.0	280	△76.9	10	△98.4	1.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2027年2月期中間期	7,159,010株	2026年2月期	7,148,730株
2027年2月期中間期	一株	2026年2月期	一株
2027年2月期中間期	7,153,031株	2026年2月期中間期	6,881,190株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善がみられる一方、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、円安基調の継続に加え、地政学リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続きました。また、物価上昇の影響から実質所得の改善は限定的となり、消費者の節約志向や選別消費の傾向が継続いたしました。訪日外客数については、3月と7月は前年同月比増でしたが、その他の月は前年同月比減となるなど、月によって増減がみられました。

外食産業におきましては、原材料費や光熱費、人件費等の上昇が継続する一方、物価上昇を背景とした消費者の節約志向も続いており、引き続き厳しい経営環境となりました。また、夏場の台風・豪雨等の天候不順による外出・消費行動への影響もみられました。

このような状況の中、当社は「イマをHAPPYに！」という企業理念および「HAPPYな空間の提供」という経営理念に基づき、従業員・お客様・株主・社会の各ステークホルダー価値の向上に取り組んでまいりました。

店舗運営につきましては、引き続きQSCA（クオリティ・サービス・クレンリネス・アトモスフィア）の向上に取り組むとともに、店舗オペレーションの分析を通じた改善活動を推進いたしました。また、人材面では、教育マニュアルの充実や動画・多言語教育の活用により、新入社員および店舗スタッフの早期戦力化と定着率向上に努めております。

商品・販売促進につきましては、夏季の需要に対応した季節商品や、各ブランドの新商品・期間限定商品を展開しました。また、「荳角家」「山下本気うどん」では、大学のゼミとの共同商品開発に取り組みました。さらに、人気キャラクターやアニメとのコラボレーション、各種キャンペーンを通じて、新たな顧客層の獲得とリピート来店店の促進に取り組みました。

そして、当社の成長戦略の一つである「荳角家」と「油そば総本店」の二刀流ハイブリッド戦略につきましては、4月下旬から既存の「荳角家」への看板・商品導入を開始し、8月末には導入店舗数が112店舗となりました。既存店舗を活用して投資負担を抑えつつ、ラーメンと油そばの併売により、多様な利用動機に対応し、既存店の収益力向上を目指しております。

M&Aにつきましては、前事業年度に取得した味噌ラーメンブランド「萬馬軒（まんばけん）」と、2026年3月から運営を開始したそば居酒屋ブランド「高田屋（たかだや）」の収益力向上およびブランド価値向上に取り組んでおります。

「萬馬軒」につきましては、店舗改装やオペレーション改善等を進めるとともに、多店舗展開を加速させ、8月には10店舗体制を構築いたしました。今後も一都三県を中心とした出店を進め、ブランドのさらなる成長を目指してまいります。

「高田屋」につきましては、3月からの運営開始後、ブランド再構築や店舗オペレーションの改善、生産性向上等に取り組み、中長期的な成長基盤の構築を進めております。また、フランチャイズ展開を含めた店舗網の拡大を通じ、ブランド価値の向上と収益力の改善を図っております。

海外展開につきましては、タイに設立した合弁会社を通じて「山下本気うどん」の海外展開準備を進めました。中間会計期間後の2026年9月10日にはタイ・バンコクで海外1号店を出店し、2店舗目以降の展開についても検討を進めております。

店舗出退店の状況につきましては、26店舗出店（直営13店舗、FC13店舗）、5店舗退店（直営2店舗、FC3店舗）した結果、当中間会計期間末の店舗数は220店舗（直営183店舗、業務委託1店舗、FC36店舗）となりました。

直営店の出店内訳は荳角家4店舗、山下本気うどん1店舗、萬馬軒5店舗と、3月から運営を開始した高田屋3店舗です。FCの新規出店は高田屋10店舗と、期初には計画していなかった荳角家3店舗です。

一方、直営店の退店は鉄板王国1店舗、ハワイアン1店舗で前者は業態変更のため、後者は契約満了によるものです。FCの退店は肉寿司3店舗で、肉寿司商標と共に肉寿司フランチャイズ本部事業を譲渡したことによるものです。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は9,518百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益217百万円（同72.9%減）、経常利益138百万円（同81.7%減）、中間純利益101百万円（同79.6%減）となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて2,595百万円増加し、19,886百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,891百万円増加、売掛金が196百万円増加、有形固定資産が353百万円増加、敷金及び保証金が106百万円増加したこと等によるものです。

（負債）

当中間会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて2,863百万円増加し、12,458百万円となりました。これは主に、長期借入金が2,233百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が808百万円増加した一方、社債が349百万円減少したこと等によるものです。

（純資産）

当中間会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて267百万円減少し、7,428百万円となりました。これは主に、中間純利益101百万円の計上により利益剰余金が増加した一方で、配当金の支払いにより393百万円減少したこと等によるものです。

（3）当中間期のキャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は12,573百万円となり、前事業年度末に比べて1,891百万円増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における営業活動の結果、獲得した資金は318百万円（前年同期は747百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益198百万円の計上、減価償却費201百万円の非資金的費用があった一方、売上債権の増加額196百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における投資活動の結果、支出した資金は672百万円（前年同期は484百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出532百万円、敷金及び保証金の差入による支出149百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における財務活動の結果、獲得した資金は2,245百万円（前年同期は1,532百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入4,100百万円があった一方、長期借入金の返済による支出1,057百万円、配当金の支払額366百万円があったこと等によるものです。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2026年4月14日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年10月15日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当中間会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,681,634	12,573,474
売掛金	603,407	800,325
棚卸資産	80,072	73,174
前払費用	284,326	339,109
未収消費税等	3,782	—
未収入金	16,637	33,710
その他	203,741	171,536
貸倒引当金	△2,097	△1,737
流動資産合計	11,871,504	13,989,593
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,788,155	1,968,996
構築物（純額）	4,158	3,788
機械及び装置（純額）	11,718	10,517
工具、器具及び備品（純額）	348,724	397,187
リース資産（純額）	391	7,238
建設仮勘定	21,890	141,158
有形固定資産合計	2,175,038	2,528,887
無形固定資産		
商標権	180,853	169,313
のれん	425,564	403,910
ソフトウェア	6,070	4,735
その他	5,605	5,605
無形固定資産合計	618,093	583,565
投資その他の資産		
投資有価証券	202,320	232,896
長期前払費用	108,676	126,181
関係会社株式	—	55,419
敷金及び保証金	1,750,995	1,857,308
繰延税金資産	476,755	441,956
破産更生債権等	—	15,400
その他	259	77
貸倒引当金	—	△15,400
投資その他の資産合計	2,539,007	2,713,838
固定資産合計	5,332,139	5,826,291
繰延資産		
社債発行費	87,464	70,625
繰延資産合計	87,464	70,625
資産合計	17,291,109	19,886,510

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当中間会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	406,038	489,653
1年内償還予定の社債	758,000	698,000
1年内返済予定の長期借入金	1,501,232	2,309,748
リース債務	35,457	22,469
未払金	763,324	970,592
未払費用	32,528	29,289
未払法人税等	236,662	132,521
前受金	20,204	55,313
預り金	90,229	67,960
賞与引当金	129,516	134,844
株主優待引当金	3,773	6,799
その他	61,629	139,573
流動負債合計	4,038,598	5,056,766
固定負債		
社債	1,477,000	1,128,000
長期借入金	3,526,511	5,760,492
リース債務	5,449	13,705
資産除去債務	330,680	344,231
その他	216,872	155,178
固定負債合計	5,556,513	7,401,607
負債合計	9,595,111	12,458,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,391,790	2,393,229
資本剰余金	2,682,690	2,684,129
利益剰余金	2,487,154	2,195,476
株主資本合計	7,561,634	7,272,835
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134,363	155,301
評価・換算差額等合計	134,363	155,301
純資産合計	7,695,997	7,428,136
負債純資産合計	17,291,109	19,886,510

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	8,823,042	9,518,782
売上原価	2,669,386	3,108,476
売上総利益	6,153,656	6,410,306
販売費及び一般管理費	5,348,993	6,192,639
営業利益	804,663	217,666
営業外収益		
受取利息	11,689	23,077
受取配当金	528	624
助成金収入	1,937	900
自動販売機収入	2,404	2,090
その他	12,579	13,622
営業外収益合計	29,138	40,314
営業外費用		
支払利息	37,320	68,143
社債利息	12,248	11,461
支払手数料	3,795	1,176
社債発行費償却	21,215	18,990
その他	5,082	4,490
貸倒引当金繰入額	—	15,400
営業外費用合計	79,662	119,662
経常利益	754,140	138,319
特別利益		
事業譲渡益	—	70,000
その他	—	112
特別利益合計	—	70,112
特別損失		
固定資産売却損	—	3,050
固定資産除却損	1,648	2,774
減損損失	—	4,311
特別損失合計	1,648	10,135
税引前中間純利益	752,491	198,295
法人税、住民税及び事業税	239,313	71,631
法人税等調整額	16,617	25,161
法人税等合計	255,931	96,792
中間純利益	496,560	101,502

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	752,491	198,295
減価償却費	180,979	201,438
のれん償却額	9,379	29,329
社債発行費償却	21,215	18,990
その他の償却額	24,812	37,023
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△813	15,040
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,168	5,328
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	3,026
受取利息及び受取配当金	△12,218	△23,701
支払利息	49,568	79,604
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	3,050
固定資産除却損	1,648	2,774
減損損失	—	4,311
事業譲渡損益 (△は益)	—	△70,000
その他の特別損益 (△は益)	—	△112
売上債権の増減額 (△は増加)	△146,312	△196,917
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,531	6,897
未収入金の増減額 (△は増加)	△12,364	△17,072
その他の資産の増減額 (△は増加)	△73,620	△26,344
仕入債務の増減額 (△は減少)	51,252	83,615
未払金の増減額 (△は減少)	125,033	142,747
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△43,866	71,711
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	9,676	△14,897
長期未払金の増減額 (△は減少)	80,443	△64,873
その他	△710	△5,921
小計	1,020,234	483,343
利息及び配当金の受取額	12,218	23,701
利息の支払額	△48,476	△85,022
法人税等の支払額	△235,981	△103,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	747,993	318,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△255,240	△532,926
有形固定資産の売却による収入	—	1,000
無形固定資産の取得による支出	△2,252	—
関係会社株式の取得による支出	—	△55,419
事業譲渡による収入	—	77,000
敷金及び保証金の回収による収入	8	17,399
敷金及び保証金の差入による収入	△211,605	△149,784
長期前払費用の取得による支出	△18,045	△25,941
預り保証金の受入による収入	6,404	6,480
預り保証金の返還による支出	△3,593	△3,300
その他	182	△6,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	△484,141	△672,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△66,640	—
長期借入れによる収入	3,900,000	4,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,211,345	△1,057,503
社債の償還による支出	△441,000	△409,000
リース債務の返済による支出	△44,621	△23,986
ストックオプションの行使による収入	1,666	2,877
配当金の支払額	△605,173	△366,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,532,886	2,245,867

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）	当中間会計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,796,738	1,891,839
現金及び現金同等物の期首残高	10,660,027	10,681,634
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,456,766	12,573,474

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。